

『あのようなこと、このようなこと… 私たちにお尋ねください!』



民生委員・児童委員は、地域にお住まいの皆さんが福祉に関して困っていることなどをお聞きし、一緒に考え、区役所の相談窓口や地域ケアプラザなどに紹介する“つなぎ役”です。ちょっとしたことでもお気軽にお尋ねください。 ※ご相談の秘密は守ります。安心してお話ください。

- ・足・腰が痛くてトイレに行くのがつらい
- ・入浴が大変です
- ・認知症が心配で…



家の中に手すりを付けると安心ですね。介護保険の手続きをすれば、サービスを利用することができます。その他の心配ごと、まずは地域ケアプラザ等に相談に行きましょう。



- ・坂がきつくて毎日の買い物が辛いです
- ・部屋の電球を交換したいのですが…
- ・庭の草取りが重労働です
- ・ゴミを出すのが大変で…



ボランティア活動をしている団体を紹介することができます。ボランティアの内容は、地域によって異なりますので、まずはご相談ください。

- ・一緒に遊ぶお友だちが欲しい
- ・子どもの発育が心配です
- ・子育てに自信がなくなることがあります…



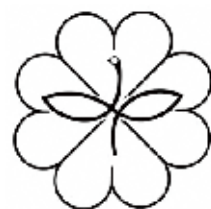
「民生委員」は、「児童委員」を兼ねています。子育てに関するご相談もぜひお聞かせください。また、子どもに関することを専門に担当する「主任児童委員」がおり、地域での「子育て支援サークル」の開催や育児相談などを行っています。

編集後記

数年前、私が担当していた高齢者(女性)のAさんから、ある夜中「苦しい、救急車を呼んで」と電話があり、私はベッドの中で思わず「何時だと思っているの、自分で電話できるじゃない」と返事をしてしまった。

数分後、やはり心配になり、Aさん宅に行くと、既に救急車は到着しAさんが乗り込むところ、私が「付いていこうか」と言うと、Aさんは強い口調で「いいよ」と車は出発していった。なんと心ないことをしてしまったのか、今でも二度としないよう反省している。(林 一郎)

【編集委員】門井 富士夫、飯高 昌子、郷原 眞理子、林 一郎、中田 美記子、手塚 睦子
 【発行責任者】露木 光夫 【事務局】戸塚区福祉保健課 ☎866-8418 FAX 865-3963



民生委員・児童委員のシンボルマーク

のばそう愛の手

戸塚区民生委員児童委員協議会

第28号
H30.9.21発行

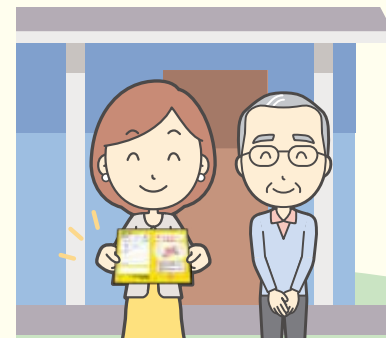


「あんしんカード」ご存知ですか?

緊急連絡先やかかりつけの病院などを記入することで、救急時や災害時に役立ちます。



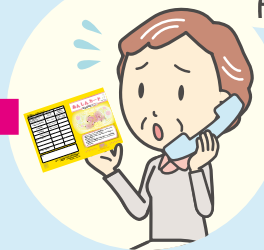
ひとり暮らし高齢者の皆さんを、民生委員・児童委員が訪問する際にお渡しします。



「緊急連絡先」や「かかりつけの医療機関」など、必要な情報を記入して、電話・冷蔵庫の近くなど、身の回りの目につきやすい所に用意します。『お薬手帳』などを一緒に置いておくと安心ですね。



「あんしんカード」活用の流れ



緊急時に119番通報する場合には、「かかりつけの医療機関」や「既往症」など、カードを見てスムーズに情報を伝えることができます。また、「緊急連絡先」や「介護サービス事業所」等を記入しておくことによって、周囲の方の協力や親族などへの連絡もしやすくなります。



「あんしんカード」が必要な方、地区を担当する民生委員・児童委員について知りたい時は、戸塚区民生委員児童委員協議会(戸塚区福祉保健課 045-866-8418)にお問い合わせください。

とつかハートプランマスコット「にころん」

◆地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

戸塚第三地区

楽しい食事会やサロンを紹介します

戸塚第三地区民生委員児童委員協議会会長 長谷川 和三

木曜会と福Chanサロン

アザリエ自治会館では、民生委員・児童委員と友愛活動推進員を中心に開催する『木曜会』があり、65歳以上のひとり暮らしの方にご参加いただいています。

昼食の後は、ケアプラザ職員の方のお話を聞いたり、近隣の芸達者の皆さんによる、歌や踊り・楽器演奏等を楽しみます。

参加者の皆さんからは、「顔なじみが増えた」「皆と一緒に食べる食事がおいしい」といった嬉しい感想をいただいています。

また、今年から始まった『福Chanサロン』では、運動とゲーム、おしゃべりやお茶を楽しんでいます。最後には、「バースデーソング」と“小さなプレゼント”でお誕生日の方をお祝いしています。



サロンのマスコット 福Chan

こころんカフェ

「孫が使った木製の玩具を譲りたいわ♥」「わあー♥うれしいです!」という嬉しい会話が広がる『こころんカフェ』。坂本町内会館では、さまざまな世代の皆さんが季節を感じ、くつろいでいただける場所を目指して活動が始まり、1年目を迎えました。

人と人とのつながりを大切に、地域の皆さんが心豊かに安心して過ごすための支え合いの場となることを目指しています。



世代を超えた交流で、「こころん」がいっぱい♥です♪

鳥が丘サロン



体を動かすことで、リフレッシュ。

鳥が丘自治会館で25年間続く『鳥が丘サロン』は、毎月30名を超える皆さんにご参加いただいています。おしゃべりの後は、ボランティアの皆さんが作る愛情いっぱいの昼食を楽しみ、「はまちゃん体操」や歌に合わせた手足の運動等をしています。

また、時にはバスで遠足に行く『お出掛けサロン』の開催や、『健康マージャン』『手作りの会』『俳句会』等幅広く活気に満ちた会へと発展しています。

◆地区民生委員児童委員協議会の活動紹介◆

北汲沢地区

魅力ある 我が地域をご紹介します

北汲沢地区民生委員児童委員協議会会長 中村 重和

北汲沢地区には、高齢者の皆さんに向けた配食サービスの『ねむのき会』があります。

大勢のボランティアの皆さんとともに、私たち民生委員・児童委員も朝からお弁当を作り、保健活動推進員や配達ボランティアの方とともに温かいお弁当を届けます。その際、皆さんのご様子を伺うことで、地域で見守りを行う良い機会ともなっています。

また、坂が多いため通院や買い物等に苦労する方も多いことから、平成11年



送迎を始めとする、さまざまな日常生活のお手伝いを行っています。

に『ワッパの会』が発足し、病院等への送迎が始まりました。平成21年からは「社団法人 総合福祉活動委員会」を立ち上げ、連合町内会・地区社会福祉協議会とともに、『福祉有償運送』の他、草取り・庭木の剪定、電球の交換、包丁研ぎやゴミ出し等を安価で行っています。

子育てを応援する活動としては、主任児童委員が開催する子育て支援サークル『によきにょきキッズ』を、町内会館の東明倶楽部と踊場ログハウスで毎月実施しています。

東明倶楽部では、1歳から未就園児の親子の皆さんに向けて、親子体操や工作等を行っています。特に、毎年行われる人形劇団『プチパペットダンライオン』の公演は、たくさんの動物や虫たちが登場して大人気です。

また、踊場ログハウスでは、利用者の方を対象とした子育て相談を行っていますので、ぜひ遊びにきていただきたいです。

これからも「安全で安心して暮らしていける町」を目指して、さまざまな取組を進めていきたいと考えています。



人形劇の他にも、季節毎の工作や楽しいイベントを企画しています。

主任児童委員連絡会の活動紹介

学校と主任児童委員のつながり

川上地区主任児童委員 中村 紀子

私たち主任児童委員は、毎年、中学校生徒指導専任教諭・小学校児童支援専任教諭の先生方と交流会を行っています。

これまでは情報交換を中心に行っていましたが、今年は少し趣向を変え、「SNS上でいじめを受けている子がいるという相談を主任児童委員が受けた」という想定で、「学校としてできること」と「主任児童委員としてできること」を、地域別に6つのグループに分かれて検討しました。それぞれの立場から積極的な意見交換が行われ、40分という決められた時間内ではありましたが、その地域ならではの課題にまで話が発展するところもありました。

その後の発表では、各グループの先生と主任児童委員の代表が、それぞれの立場から感じたこと、気づいたこと等を報告しました。共通していたのは、「学校-家庭-主任児童委員のネットワークをより強固な信頼関係で築いていこう」という意見でした。

終了後に、先生方からは「有意義な時間が持てた」「主任児童委員が地域との繋がりを大切にして活動していることを知った」等のお言葉をいただきました。

先生も主任児童委員も、子どもたちが元気で安心して生活できることを一番に望んでいます。先生方が私たちに求めていることを具体的に知ることができ、そのために何をすべきかということも、この交流会で再確認しました。

この交流会で気づいたこと、感じたことを大切に、これからも『頼れる地域のつなぎ役』として、より良い子育て支援ができるよう活動を続けていきたいと思えます。



普段の活動で顔を合わせることも多く、活発な意見が交わされます。



とつかハートプラン

誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現のために